

中学生として臨む2大行事のうちの1つ、体育大会が目前に迫っています。それが終われば、音楽コンクール。その間には、中間テストも大切な実力テストもあります。とても忙しい、けれど一生それぞれの心に刻まれるような瞬間を、仲間とともに積み重ねてほしいです。そんな瞬間になるかは、「本気になること」を楽しめるかどうかにかかっていると思います。そしてクラス全体で、学年全体で、「本気になれる」仲間としてつながり合えたなら、今後“進路”を切り拓いていく場面においても必ずあなたを後押しする力に変わっていくはずです。さあ、まずはあなた自身、「本気になる楽しさ」を色んな日常の瞬間に、最大限発揮しましょう！

■ 目の前のことに「本気」で取り組む姿勢

冒頭にも書きましたが、みんなは今「目の前にあること」に対して「本気」で向き合えていますか？ 授業、行事の練習、遊び・・・自分自身を振り返ってぜひ考えてみてください。

「本気」という言葉は、「まじめな気持ち。真剣な気持ち。そのさま。」を表します。どんなことに対しても「目の前のすべきこと」に“本気”で向き合える人は、今もこれから先の人生においても多くの達成感を味わい、それを分かち合える仲間にもめぐまれます。行動がもたらすポジティブな変化は、自分の自信につながるだけでなく、周囲へもいい影響を与えます。もしかしたら、今の自分にとって目の前のすべきことは苦手なことだったり、必要がないと思えるようなことだったりするかもしれませんが、そこを「本気」でやりきれたなら、面白さや楽しさ、感動することが少なからずうまれます。



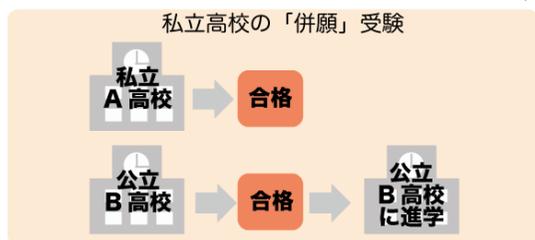
私自身が最近みんなの「本気」を感じた場面があります。それは体育大会での学年練習。全員リレーでそれぞれが持てる力を「本気」で出して走っていた、そしてそれを「本気」で応援するクラスメイト。みんなの「本気」がとてもステキで、胸が熱くなりました。たとえ練習であっても、「本気」が出せたみんなは、とてもかっこよかったです。

そんな姿を、日々の学校生活においても一人ひとりがもち続けて送れたなら、後ろ向きな言葉や行動は減り、自分自身も周囲の人たちも明るく前向きな雰囲気、互いを支え合っていけるのではないのでしょうか。その支えを糧に、今後待ち受ける様々な試練に立ち向かっていってほしいと思います。

■ 入試の仕組みを知る - 【① 専願と併願って??】

私立高校には、「併願」と「専願」の2つの受験方法があります。もう一度その仕組みをおさえて、あなたにとって、どのような方法で受験するのが良いかを考えていきましょう。

- ◎ 「**専願**」：私立高校に合格したら必ず入学すると約束して受験するもので、合格した場合には、その後公立高校を受験することはできません。
- ◎ 「**併願**」：公立高校が第一志望でも、公立との併願を認めている私立高校を受験する方法です。（私立高校のコースによっては、専願のみというコースもあります。自分が受験を考える私立高校の受験要項などをよく調べましょう。）
この場合、公立高校に合格すれば、公立高校に入学することになります。



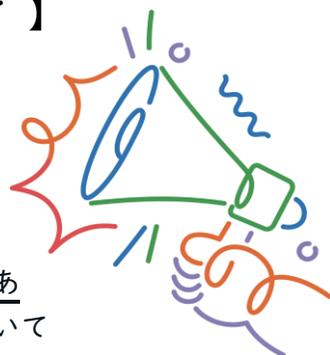
(※Benesse 進研ゼミ高校入試情報の図を引用)

11月の進路懇談、12月の3者懇談会で私立受験校を決めていきます。その際に、「専願」受験か、「併願」受験かも決定します。

迷っていたり、まだ考えていない人は、ぜひ今すぐ考え始めましょう。高校では秋も説明会等が予定されていますので、ぜひHP等で調べ、自ら動きましょう！

■ 入試の仕組みを知る - 【② スポーツ推薦などについて】

部活動や課外活動などでの推薦を希望する場合、まずはすぐ担任の先生に伝えてください。決して、何も伝えずそのままにしておくことのないようにしてください。また、高校側と直接話をしていたとしても、推薦者は中学校長です。高校側の顧問や外部チームの指導者ではありません。専門分野での技能や実績に優れていても、学校生活をしっかりと送ることができていなければ、推薦できない可能性もあります。日々の学校生活の送り方はとても重要になることを念頭に置いて頑張りましょう。



～ 公立オンライン出願に係るインターネット環境調査アンケートについて～

9月30日(月)に、コドモンにて上記の調査アンケートを配信しています。また、コドモン未登録のご家庭には、同じ内容のアンケートを紙媒体でお渡ししています。ご確認いただき、10月11日(金)までに回答のご協力をよろしく願います。